

都市再生整備計画事業 フォローアップ報告書
第3期富岡志岐地区

令和 3年 5月

熊本県苓北町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	本町における主要な拠点施設(苓北町歴史資料館)の年間来館者数	人/年	647	5,666	2,474	確定	△	あり	2,338	R3年4月	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	苓北町歴史資料館の年間来館者数は、目標値には達しなかった。要因としては、コロナ禍による外出自粛で、さらには、感染拡大防止の観点で、県外からの来館者に対する入館規制も実施しており、年間を通じて来館者を迎い入れる状況にはなかったことが主な要因である。
指標2	長崎・天草航路の利用者数	人/年	14,285	14,942	4,698	確定	×	あり	4,916	R3年4月	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	長崎・天草航路の利用者数は、目標値には達しなかった。要因としては、コロナ禍による外出自粛で、特に県境を跨ぐ移動の禁止等の措置により、長崎・天草航路の利用者が大幅に減少したと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	ボランティアガイド協会の会員数	人	/	/	27	確定	/	/	25	R3年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	ボランティアガイド協会は、平成24年度以降、ジオパーク講座、各種研修(湯島研修、宇土市研修、樹木の研修会、ジオパーク研修会、オルレ検討会等)、イベント開催(歴史探訪ウォーキング、おひなさま祭り・あおぞら市でのガイド等)、広報活動(町内小学校での講話等)等に取り組み、その会員の獲得やガイドのスキルアップに努めており、それらの取り組みにより活動が維持されている。
その他の数値指標3	みなとオアシス富岡によるイベント来訪者数	人	-	/	4,021	確定	/	/	4,736	R3年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	リニューアルオープンした苓北町富岡港客待合所『きずなステーション』で「みなとオアシス富岡」による各種イベント(土曜港市、きずなマルシェ等)が令和元年9月より開催されており、イベント来訪者数は、コロナ発生前後と比較してもほぼ同程度と、精力的な取り組みが継続されている。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	観光地としてのブランディング展開	「茶北ブランディング」の展開 …茶北町観光の魅力をオンライン広告やSNSで発信するだけでなく、地域住民とともにブランド価値を作り上げていき、地域全体で観光客をもてなすことが重要であり、これまで取り組んできた観光施策をより発展させるため「茶北ブランディング」の展開を図る。	- (実施前であり、現時点における成果はなし。)	
	地域資源を活用した集客イベントの展開	集客イベントの定期開催 …キリタン文化を代表とする歴史的資源や海にうかぶ博物館あまくさに代表される天草の自然環境を活かした取り組みと、茶北町の地域資源(海産物、農産物、長崎とのつながり、歴史・文化等)を活用した集客イベントの定期開催により、更なる来訪者増を図る。	- (実施前であり、現時点における成果はなし。)	
	広域からの集客力アップ	広域からの集客に向けた取り組みの実施 …茶北町へのアクセス性を向上し、さらなる集客を図るため、長崎市内から約1時間強(高速船、車利用)という時間距離の短さを強みとし、九州新幹線長崎ルート開業を見据えた長崎×天草(茶北)の観光商品開発等を行う。また、関西方面から熊本空港経由で天草までダイレクトにアクセスできる利便性を活かし、関西圏をターゲットにした観光PRを展開する。	- (実施前であり、現時点における成果はなし。)	
	ボランティアガイド協会の活動支援	ボランティアガイド協会に対する後方支援 …これまでに培われたボランティアガイド協会の活動を維持・発展するため、ガイド活動の他、利用者の要望把握や人材発掘、人材育成等の取り組みに対する支援等を行う。	- (実施前であり、現時点における成果はなし。)	
	『観光地』としての機運の向上	各施設における案内情報の掲示 …地域住民が『観光地に住んでいる』という意識を高めるため、茶北町の観光に対する取り組みを周知するとともに、地域住民に観光客をもてなす意識や地域に対する愛着を高めたいいただくため、取り組みに対する支援を行う。	- (実施前であり、現時点における成果はなし。)	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	観光入込客の増加に向けた戦略的な取り組みの推進	新たな人材(地域活性化起業人、地域おこし協力隊)等による戦略的・効果的な観光戦略の展開 …これまではハード事業主体で観光まちづくりを進めてきた経緯があり、今後はソフト的な活動により一層注力し、観光入込客数の増加に向けて戦略的・効果的な事業を実施する。	- (実施前であり、現時点における成果はなし。)	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項